

内務省警保局の主 芽城鈴木千次とは誰ぞ（四訂稿）

—明治警察史の一齣—

（令和 4（2022）年 8 月 13 日（土）現在）

〔目 次〕

（補正経緯）……………1

1 「警保局の主鈴木千次」（『内務省史』第 2 卷 932 頁）……………2

2 鈴木千次著作目録（抄）……………3

3 鈴木千次関連著作目録……………4

4 （参考）警察協会雑誌の件……………5

【附録】明治警察史コーナーHP 項目一覧（抄）……………6

【関連事項】……………7

（補正経緯）

HP 初出: 平成 22（2010）年 6 月 16 日（水）初稿作成
平成 22（2010）年 6 月 19 日（土）改訂稿作成
平成 24（2012）年 8 月 20 日（月）再訂稿作成
（一部補正、追加）
平成 26（2014）年 7 月 13 日（日）三訂稿作成
（表題一部変更（警保局⇒内務省警保局）、
「4（参考）」を追加、その他一部補正）
令和 4（2022）年 8 月 13 日（土）四訂稿作成
（レイアウトを全面変更し、一部補正追加した。）

1 「警保局の主鈴木千次」(『内務省史』第2巻932頁)

・『内務省史』第2巻(大霞会、昭和45年11月1日刊。原書房復刊、明治百年史叢書第296、昭和55年6月刊)932頁は、「警保局の主鈴木千次」と題して、鈴木千次(1867～1941)に言及している(肖像あり。)。それによれば、同氏の略歴は、次のとおりである。

慶応3(1867)年10月26日 群馬県に生まれる。

明治15(1882)年12月 弱冠16歳で警視庁等外出仕

明治26(1893)年11月 内務属、警保局勤務

大正10(1921)年 主事となり高等官七等待遇

大正12(1923)年3月 警察講習所教授、高等官六等

大正12(1923)年3月31日 免本官、内務省嘱託

昭和2(1927)年10月31日 財警察協会主事

昭和13(1938)年8月18日 依願免同主事

昭和16(1941)年2月5日 逝去、享年75

「勤続実に五〇年、警保局の主とも生字引ともいわれた。」

・「国立公文書館デジタルアーカイブ」で「鈴木千次」を検索のこと。

〈<http://www.digital.archives.go.jp/>〉

・しからは、鈴木千次の著作には何があるのか。

・鈴木千次の雅号は「芽城」(「がじょう」か)。詳しくは失念したが、同氏の住居のあった「目白」に由来と聞く。

・『警察協会雑誌』¹第359号(昭和5年7月1日刊)口絵に、主賓後藤松吉郎(1849～1939)²を囲み当時の錚々たるメンバーが揃った「警察談話会」(昭和5年5月30日夜、於学士会館)での集合写真があるが、鈴木千次の姿もある³。(平成22年6月19日追加)

¹ 本 HP 別稿「『警察協会雑誌』発行表」参照。(平成24年8月20日追加)

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/keikyozasshi.pdf>〉

² 後藤松吉郎: 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/goto001.pdf>〉

³ 当該「警察談話会」では、松井茂博士(1866～1945)の挨拶があり、後藤松吉郎の「維新当時の警察状態見聞」なる談話がなされた、最後に「座談会」が持たれたが、これらにつき、後藤松吉郎談「維新当時の警察状態見聞(1)」「警察協会雑誌」第359号(昭和5年7月1日刊)84～91頁(最初に「後藤氏略歴」、同「維新当時の警察状態見聞(2) [完]」同第360号(昭和5年8月1日刊)85～91頁各参照。うち、同第359号口絵に、当日の集合写真が掲載されている。同写真のキャプションは、次のとおりである([] 内は補註)。「警察談話会 [昭和5年] 五月三十日夜学士会館にて開催。前列向って右より土屋内務書記官[土屋正三、1893～1989、大正6年内務省入省]、石原社会局部長[石原雅二郎、?～?、大正3年内務省入省]、金井警察講習所教頭[金井佐久、?～?、明治45年内務省入省]、鈴木本会主事[財警察協会、鈴木千次、1867～1941、内務省⇒財警察協会]、松井本会副会長[松井茂、1866～1945、明治26年内務省入省]、主賓後藤松吉郎氏(1849～1939)、高橋[警視庁]警務部長[高橋雄豹、1889～1979、大正4年内務省入省]、渡警察講習所教授[渡正監、1897～1953、大正10年内務省入省]、宇都宮内務事務官[宇都宮孝平、1897～1988、大正12年内務省入省]、後列、桑原内務事務官[桑原幹根、1895～1991、大正11年内務省入省]、佐藤本誌記者[『警察協会雑誌』、佐藤進、?～1942]、田村警察講習所教授[田村豊、1899～1933、大正15年内務省入省

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tamura001.pdf>〉]。 (平成22年6月19日追加)

2 鈴木千次著作目録（抄）

（凡例）：

- ・『東京大学法学部附属明治新聞雑誌文庫所蔵雑誌目次総覧』⁴第 125 巻、第 126 巻（各警察編、大空社、平成 9（1997）年 5 月 26 日刊）掲載記事を収録。
- ・上記未収録のものは、別途処置した（*印のもの）。

（1）鈴木千次名義

- ・*「有松先生に対する部下としての追憶」（「故名誉会員有松英義君追悼録」の一つ、清浦奎吾（1850～1942）、阪谷芳郎（1863～1941）等諸氏とともに。）『警察協会雑誌』第 330 号（昭和 3 年 2 月 1 日刊）？頁～（有松英義: 1863～1927）

（2）「芽城生」名義

- ・「巡查諸君を友として」『警察協会雑誌』第 290 号（大正 13 年 10 月 25 日刊）？頁～
- ・「巡查諸君を友として」『警察協会雑誌』第 291 号（大正 13 年 11 月 25 日刊）？頁～
- ・「巡查諸君を友として」『警察協会雑誌』第 293 号（大正 14 年 1 月 25 日刊）？頁～
- ・「巡查諸君を友として」『警察協会雑誌』第 336 号（昭和 3 年 8 月 1 日刊）45 頁～
- ・「巡查諸君を友として」『警察協会雑誌』第 338 号（昭和 3 年 10 月 1 日刊）44 頁～

（3）「芽城」名義

- ・「警察漫語（「警察だより」中）」『警察協会雑誌』第 342 号（昭和 4 年 2 月 1 日刊）56 頁（「警察だより」）～
- ・「警察漫語（「警察だより」中）」『警察協会雑誌』第 343 号（昭和 4 年 3 月 1 日刊）54 頁（「警察だより」）～
- ・「大震災と例規書類」『警察協会雑誌』第 349 号（昭和 4 年 9 月 1 日刊）51 頁～
- ・*「懐古談片（其の一、功労記章制定）」⁵『警察協会雑誌』第 354 号（昭和 5 年 2 月 1 日刊）45 頁～
- ・*「懐古談片（其の二）」『警察協会雑誌』第 355 号（昭和 5 年 3 月 1 日刊）60 頁～
- ・*「懐古談片一【其の三】往時の警保局一」『警察協会雑誌』第 355 号（昭和 5 年 3 月 1 日刊）60 頁～

⁴ 〈<http://www.ozorasha.co.jp/s00285-3.html>〉参照。（平成 24 年 8 月 20 日追加）

⁵ 「懐古談片（其の一、功労記章制定）」冒頭に、次の序文あり。「多年警保局に、御厄介に為つて居り、今は主として、本会の方にお世話になつて居りますが、先頃雑誌委員の方々から、昔話をせよとのお勧めに預りました。処が、申訳のないことには、永い間御同情に依て勤めて来ましたが、何等お役に立つたことはなく、地位の高い方と異がつて、抱負経綸のあるべき筈はなし、又心懸の悪いことには、日記一つあるではなし、全く記憶を辿つて、申述べるので、聊か無謀の感があり、旁々誤りなきを保し難いから、其の点は御高恕を仰いで置く。（以下省略）」

- ・「懐古談片（其の四） 巡査部長及警部補の設置」『警察協会雑誌』第 357 号（昭和 5 年 5 月 3 日刊）41 頁～
- ・「懐古談片（其の五）」『警察協会雑誌』第 360 号（昭和 5 年 8 月 1 日刊）44 頁～
- ・「懐古談片（其の六）」『警察協会雑誌』第 364 号（昭和 5 年 12 月 1 日刊）51 頁～
- ・「懐古談片（其の七）」『警察協会雑誌』第 369 号（昭和 6 年 5 月 1 日刊）52 頁～
- ・「懐古談片（其の八、前文部大臣小橋一太氏）」『警察協会雑誌』第 374 号（昭和 6 年 10 月 1 日刊）49 頁～（小橋一太: 1870～1939）
- ・「懐古談片（其の九、井上内務大臣衆議院議員総選挙取締の訓示に就き警部長に警告す）」『警察協会雑誌』第 378 号（昭和 7 年 2 月 5 日刊）49 頁～（井上馨: 1836～1915）
- ・「後藤狂夫君を悼む」（「故警察協会雑誌編輯顧問後藤狂夫君追悼録」の一つ、松井茂、佐藤進両氏とともに。）『警察協会雑誌』第 381 号（昭和 7 年 5 月 1 日刊）70 頁～（後藤狂夫: 頑鉄、? ～1932、松井茂: 1866～1945、佐藤進: ? ～1942）
- ・「懐古談片（其の十、安楽兼道氏警保局長時代の警察事項）」『警察協会雑誌』第 381 号（昭和 7 年 5 月 1 日刊）48 頁～（安楽兼道: 1851～1932）（平成 22 年 6 月 19 日追加）
- ・「懐古談片（其の十一、警察署長警視論）」『警察協会雑誌』第 387 号（昭和 7 年 11 月 1 日刊）97 頁～
- ・「鳥越熟二君を悼む」（「故警視庁警視鳥越熟二君追悼録」の一つ、高橋雄豺(1889～1979)、三橋孝一郎⁶、増田甲子七(1898～1985)、関誠太郎⁷、松尾英敏の諸氏とともに。）『警察協会雑誌』第号（昭和年月日刊）74 頁～（鳥越熟二: 1895～1933）
- ・「田中光顕伯と警視総監」『警察協会雑誌』第 469 号（昭和 14 年 6 月 1 日刊）32 頁～（田中光顕: 1843～1939）

3 鈴木千次関連著作目録

昭和 16（1941）年

- ・「前警察協会主事鈴木千次君追悼録」（松井 茂（1866～1945）「噫、鈴木千次君」40 頁、長岡隆一郎（1884～1963）「鈴木さん」44 頁、高橋雄豺（1889～1979）「鈴木さんの追憶」45、種村一男（1902～1982）⁸「鈴木千次さんを憶ふ」、佐藤進（? ～1942）「芽城先生の片鱗」）『警察協会雑誌』第 491 号（昭和 16 年 4 月 1 日刊）40 頁～

昭和 39（1964）年

- ・『高橋雄豺氏談話速記録 第 1 回（会期: 昭和 39 年 1 月 31 日）』、『同 第 2 回（会期: 昭和 39 年 2 月 24 日）』（内政史研究会、内政史研究資料: 第 12、17 集（印刷表記に「第 13 集」とあるのは「第 17 集」の間違いの由。）、タイプ謄写印刷）

昭和 45（1970）年

⁶ 三橋孝一郎: <http://kins.jp/dic3_ma.html>

⁷ 関誠太郎: <http://20902445.at.webry.info/201002/article_17.html>

⁸ 種村一男: <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tanemura.pdf>>

・『内務省史』第2巻（大霞会、昭和45年11月1日刊。原書房復刊、明治百年史叢書第296、昭和55年6月刊）932頁「警保局の主鈴木千次^{ぬし}」

昭和49（1974）年

・「日本警察の歩みを語る（その1）—明治警察史研究を中心にして 対談：高橋雄豺⁹・中原英典¹⁰」『警察研究』第45巻第9号（昭和49年9月刊）

昭和50（1975）年

・「日本警察の歩みを語る（その4）—警保局勤務のころ 後藤文夫、（ききて）高橋雄豺・中原英典」『警察研究』第46巻第5号（昭和50年5月刊）

・「警察勤務の思い出（1）—日本警察の歩みを語る（5） 高橋雄豺、（ききて・註記）中原英典」『警察研究』第46巻第6号（昭和50年6月刊）

・「警察勤務の思い出（2）—日本警察の歩みを語る（6） 高橋雄豺、（ききて・註記）中原英典」『警察研究』第46巻第7号（昭和50年7月刊）

・「警察勤務の思い出（3）—日本警察の歩みを語る（7） 高橋雄豺、（ききて・註記）中原英典」『警察研究』第46巻第8号（昭和50年8月刊）

・「警察勤務の思い出（4・完）—日本警察の歩みを語る（8） 高橋雄豺、（ききて・註記）中原英典」『警察研究』第46巻第9号（昭和50年9月刊）

4（参考）警察協会雑誌の件（平成26年7月13日追加等）

『警察協会雑誌』については、平成25（2013）年12月に、警察政策学会警察史研究部会・公益財団法人警察協会編『警察協会雑誌目次集＝警察政策百年の論述＝』（警察政策学会資料・別刷、警察政策学会・公益財団法人警察協会、平成25年12月刊）が刊行された。また、別に公益財団法人警察協会HP〈<http://www.keisatukyokai.or.jp/>〉にHP用「目次集」がアップされた⇒〈<http://www.keisatukyokai.or.jp/index.php?id=145>〉。

その後、平成26（2014）年1月21日（火）より「図書館向けデジタル化資料送信サービス」（図書館送信）が開始され、この結果『警察協会雑誌』のデジタル化資料（第1号～第520号）も最寄りの公共図書館等（国立国会図書館の承認を受けた図書館に限る。）で利用できるようになった。〈http://www.ndl.go.jp/jp/library/service_digi/〉⇒更に、令和4（2022）年5月19日（木）より、国立国会図書館個人向けデジタル化資料送信サービス（個人送信）開始。（令和4（2022）年8月13日追加）

更に、平成26（2014）年6月に警察政策学会管理運用研究部会（松尾庄一氏執筆）『警察協会雑誌にみる警察の歴史』（警察政策学会資料第77号、平成26（2014）年1月〈マ〉）刊。同年5月「まえがき」あり。）が刊行された。

⁹ 高橋雄豺：〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/takahashi001.pdf>〉

¹⁰ 中原英典：〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/nakahara001.pdf>〉（平成24年8月20日追加）

【附録】明治警察史コーナーHP 項目一覧（抄）（令和 4（2022）年 8 月 13 日追加）

- ・「法制史学者著作目録選」中「明治警察史コーナー」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/Historian2003.htm>〉
- ・「松井茂久『警官陶冶篇』研究史抄一本 HP 収載「PDF 版松井茂久『警官陶冶篇』検討資料」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/matsui002.pdf>〉
- ・「PDF 版松井茂久『警官陶冶篇』（増訂三版、明治 25（1892）年 2 月 18 日刊）」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/matsui001.pdf>〉
- ・「大森鍾一『直興遺篋抄』—「長男仕官に就き与へたる訓戒の書」—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/omori001.pdf>〉
- ・「川路大警視青山墓前の頌徳碑検討一斑（碑文全文、付句読点文、書下し文）—故陸軍少将兼大警視正五位勲二等川路君墓表編修副長官従五位重野安繹撰— 一明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kawaji002.pdf>〉
- ・「佐和正関係文献抄—明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/sawatadashi.pdf>〉
- ・「坂元純瀨、國分友諒両氏の墓所について—中原英典氏のお問いかけを追って—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/sakamoto001.pdf>〉
- ・「国分友諒顕彰碑について—原田弘先生のお教えに接して—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kokubukenshoji.pdf>〉
- ・「篠崎五郎関係資料抄—台湾出兵時の徴集隊指揮副長の一人— 一明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/shinozaki.pdf>〉
- ・「後藤松吉郎とは誰ぞ—明治警察史・日本統治下台湾警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/goto001.pdf>〉
- ・「裁判医学校乃至警視医学校関係文献一斑—明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/saiban001.pdf>〉
- ・「『無冤録述』検討一斑—江戸期及び明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/muenrokujutsu.pdf>〉
- ・「続・『無冤録述』の初歩的検討—江戸期及び明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/muenrokujutsuzoku.pdf>〉
- ・「ヘーン大尉関係文献抄（再訂稿）」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/hoen001.pdf>〉
- ・「明治中葉警官練習所訳官久松定弘等及び筆記者井土経重（霊山）検討一斑—明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/yakkan.pdf>〉
- ・「岩瀬忠震関係文献抄（六訂稿）—向島・ヘーン大尉表功碑探訪余聞—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/iwase001.pdf>〉

- ・「内務省警視局御用御書物師須原鉄二とは誰ぞ—明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/subara.pdf>〉
- ・「清水書店とは何ぞや—須原鉄二との関連で—明治・大正警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/shimizushoten.pdf>〉
- ・「須原鉄二と清水書店創業者葉多野太兵衛について—明治・大正期出版業史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/hatano001.pdf>〉
- ・「警察監獄学会及び『警察監獄学会雑誌』 検討一斑—明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kangokugakkai.pdf>〉
- ・「警眼社社主田山宗堯とは誰ぞ—『警察協会雑誌』との関連をめぐって— 明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tayama.pdf>〉
- ・「松華堂乃至松華堂書店とは何ぞや—明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/shokado.pdf>〉
- ・「高橋雄豹博士著作目録（再訂稿）」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/takahashi001.pdf>〉
- ・「田村豊氏著作目録」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tamura001.pdf>〉
- ・「有光金兵衛とは誰ぞ—「田村豊氏著作目録」補遺—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/arimitsu.pdf>〉
- ・「中原英典氏明治警察史研究関係著作目録抄（参考）渡辺忠威氏警察史関係文献抄」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/nakahara001.pdf>〉
- ・「小林光政氏とは誰ぞ—大正・昭和戦前期警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kobayashimitsumasa.pdf>〉
- ・「内務省警保局の主 芽城鈴木千次とは誰ぞ—明治警察史の一齣—」（本稿）
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/suzukisenji.pdf>〉
- ・「種村一男氏関係資料抄—昭和戦前期警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tanemura.pdf>〉

【関連事項】（令和4年8月13日追加）

- ・法制史学会： 〈<https://www.jalha.org/>〉
- ・国立国会図書館： 〈<https://www.ndl.go.jp/>〉
- ・国立国会図書館デジタルコレクション 〈<https://dl.ndl.go.jp/>〉
- ・国立国会図書館個人向けデジタル化資料送信サービス（個人送信）（令和4（2022）年5月19日開始）
〈https://www.ndl.go.jp/jp/use/digital_transmission/individuals_index.html〉

- ・国立国会図書館次世代デジタルライブラリー（令和 4（2022）年 4 月 1 日追加）
〈<https://lab.ndl.go.jp/service/tsugidigi/>〉
- ・CiNii: 〈<https://ci.nii.ac.jp/>〉 ⇒ 〈<https://cir.nii.ac.jp/>〉（【[2022] 4/18 更新】CiNii Articles
の CiNii Research への統合について）、〈<https://ci.nii.ac.jp/books/>〉

（了）